

# 浅間山

概況（平成 15 年 6 月）

**火山活動は、やや活発な状態が続いています。**

噴煙活動はやや活発な状態が続いています。4月18日の極小規模な噴火以降、有色噴煙の噴出は観測されていません。

地震活動は、やや活発な状態が続いており、火山性微動が時々発生しました。

火口底の温度は高い状態が続いていると考えられます。

以上のことから火山活動はやや活発な状態が続いており、今後も山頂付近に少量の降灰をもたらす小規模な噴火の起こる可能性はあります。山頂付近では少量の降灰や火山ガス、また風下側の山肌を流下する火山ガスには注意が必要です。

## 地震活動および噴煙活動の状況

2000年9月から地震活動のやや活発な状態が続いています。今期間、1日あたりの地震回数は10～60回程度で推移しています（全て無感地震、表1、図1、図4）。火山性微動は多い日で1日に5回発生しましたが、基準観測点（B点、火口の南約2km）での振幅は最大で0.2μm、継続時間は最長で約3分と規模の小さいものばかりでした（表1、図2、図5）。

また、遠望カメラによる観測では、噴煙活動はやや活発な状態が続いています（図3、図6、図7）。

表1 火山性地震・火山性微動日別回数表（浅間山）

浅間山(B点)												
上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計	
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	
低周波地震	22	16	13	24	17	25	11	5	9	34	176	
微動	0	1	1	5	1	0	1	2	0	0	11	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計	
高周波地震	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
低周波地震	15	27	48	50	41	36	12	18	29	20	296	
微動	1	0	1	2	0	1	3	0	0	0	8	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	旬計	月計
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	10
低周波地震	13	25	19	31	31	24	37	39	60	60	339	811
微動	1	0	2	1	1	0	1	1	3	2	12	31

短期・日別 地震活動推移 (最近2年間の火山性地震・火山性微動の日別回数)

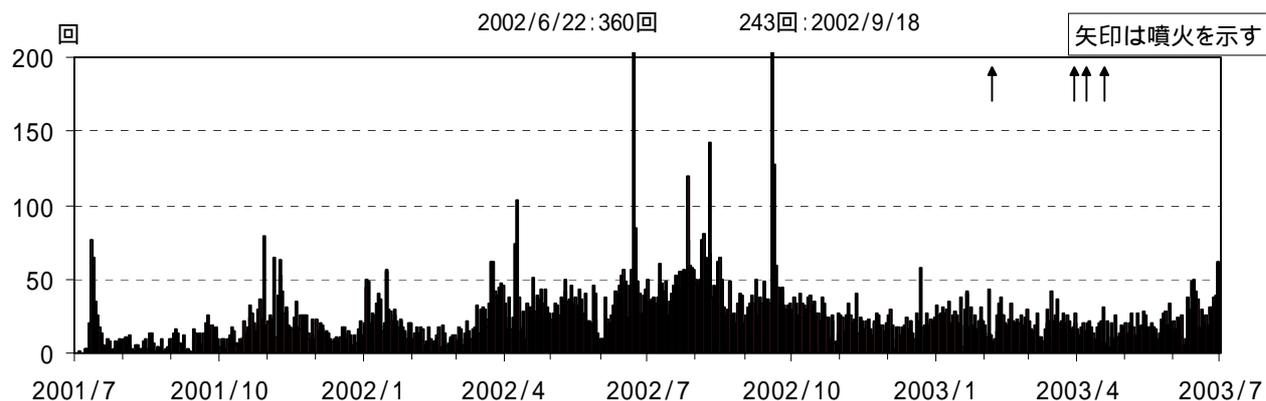


図1 浅間山 火山性地震日別回数(2001年7月1日~2003年6月30日)

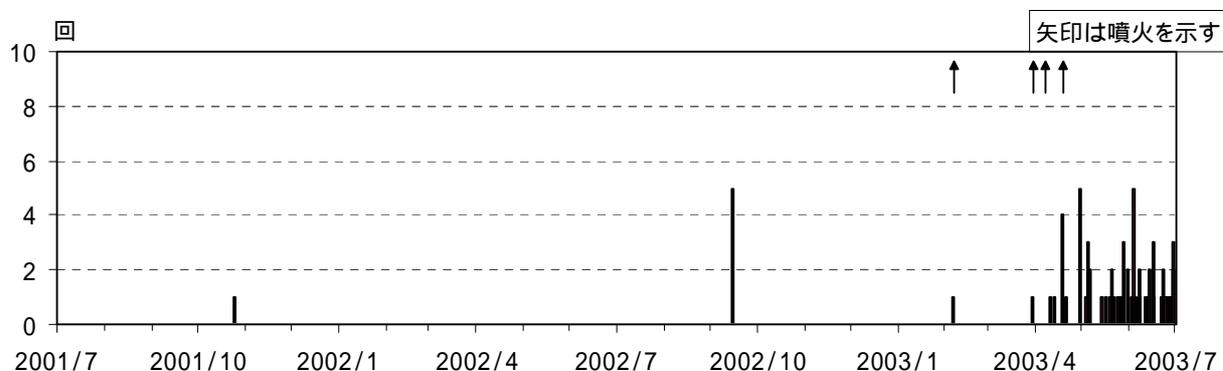


図2 浅間山 火山性微動日別回数(2001年7月1日~2003年6月30日)

短期・日別 噴煙活動推移 (最近2年間の日別噴煙高度)

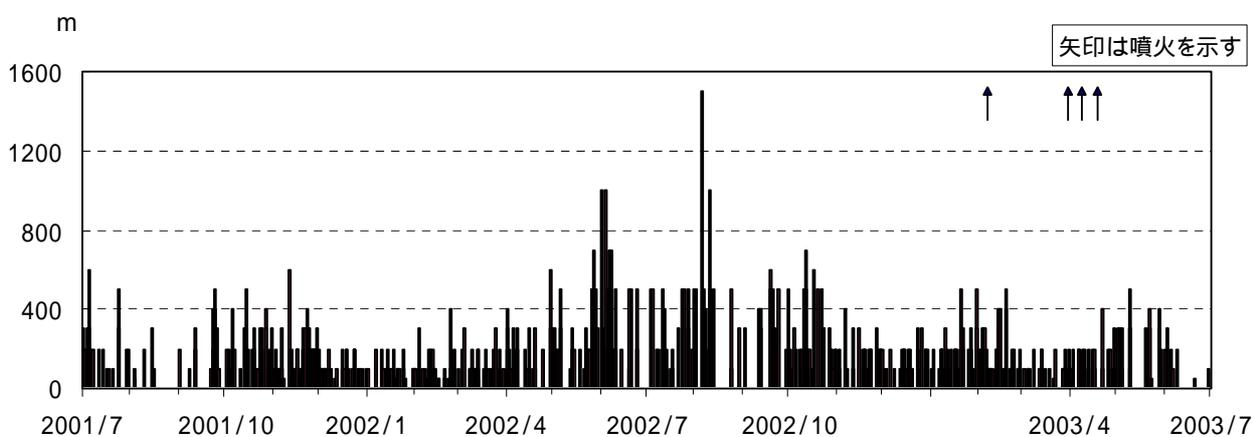


図3 浅間山 日別噴煙高度(2001年7月1日~2003年6月30日)

長期・月別 地震活動推移（1964年1月以降の火山性地震・火山性微動の月別回数）

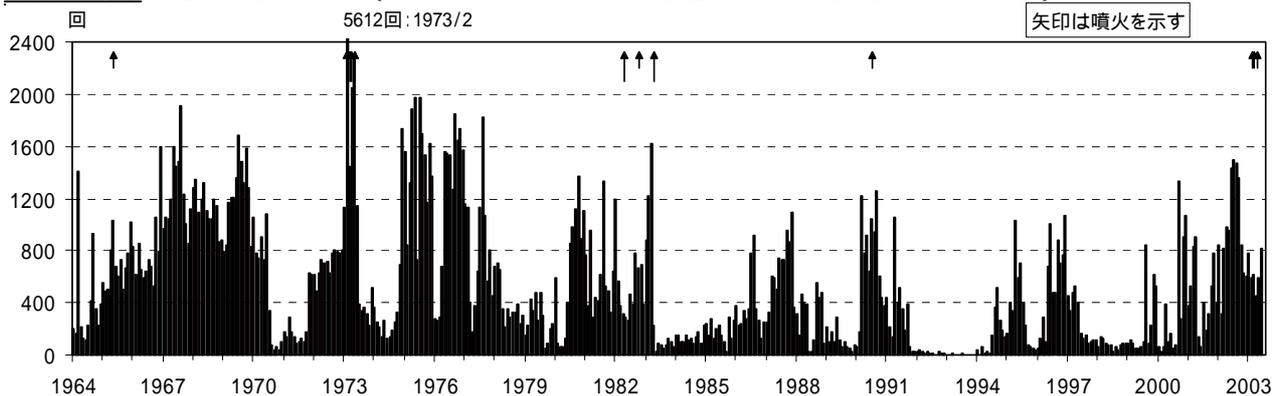


図4 浅間山 火山性地震月別回数（1964年1月～2003年6月）

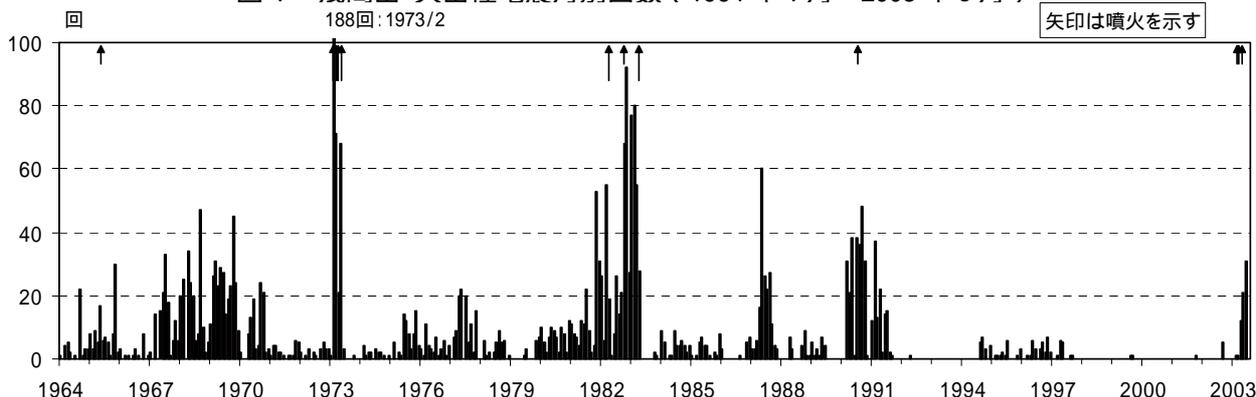
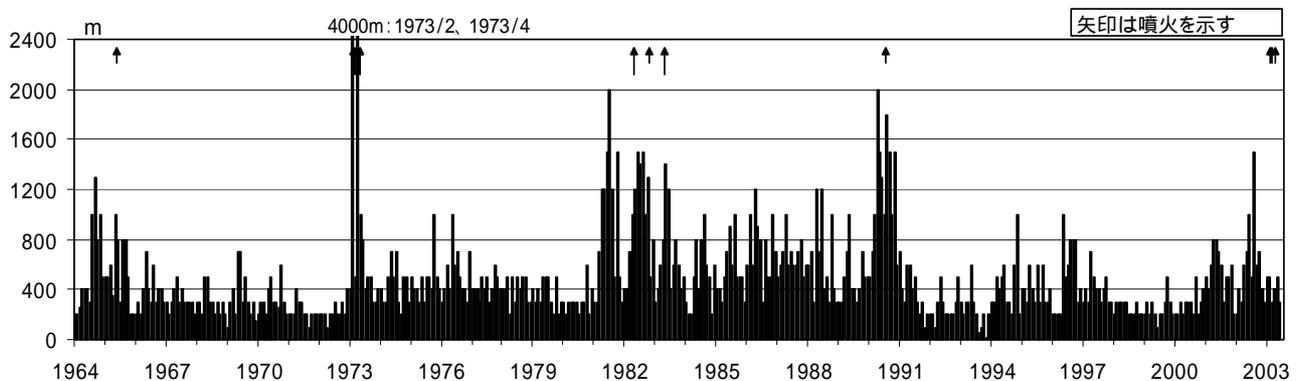


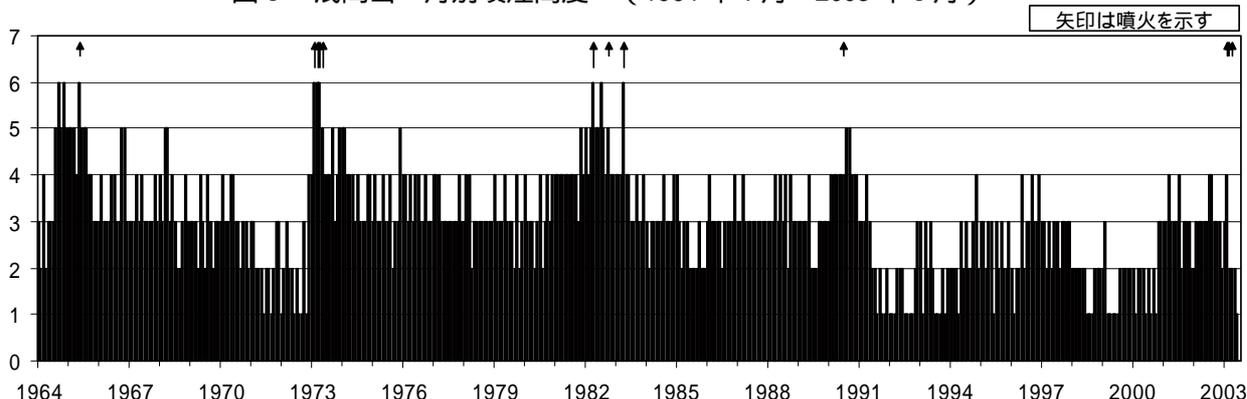
図5 浅間山 火山性微動月別回数（1964年1月～2003年6月）

長期・月別 噴煙活動推移（1964年以降の月別噴煙高度・月別噴煙量）



\*09・15時の定時観測のうちで最大を示しています

図6 浅間山 月別噴煙高度（1964年1月～2003年6月）



\*09・15時の定時観測のうちで最大を示しています

図7 浅間山 月別噴煙量（1964年1月～2003年6月）

### 火口温度の状況

群馬県林務部設置の高感度カメラおよび赤外カメラにより、時折、火口底内の高温部分が確認されており(図8)、火口底温度の高い状態は続いていると考えられます。



21時10分頃

21時19分頃

23時03分頃

図8 火口内の様子(2003年6月7日)

### 火山ガスの状況

2002年7月より二酸化硫黄の放出が多い状態が続いているため、ほぼ毎月二酸化硫黄放出量の観測を行ってまいりましたが、5月および6月は天候不良のため観測できませんでした。

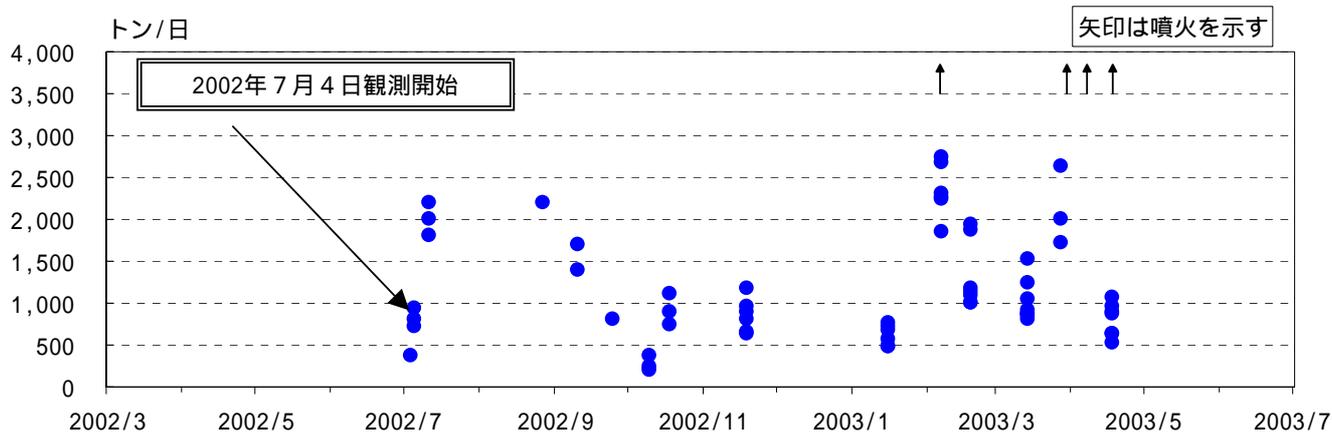
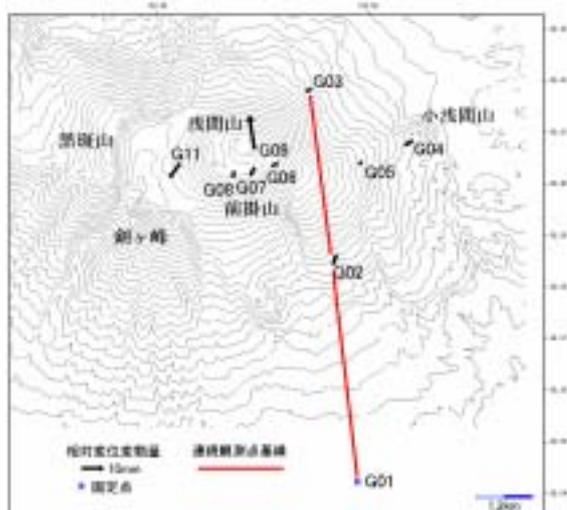


図9 浅間山 二酸化硫黄放出量(2002年7月~2003年6月)

### 地殻変動の状況

浅間山の山腹から山頂にかけての地殻変動を捉えるため、2002年7月からGPSによる繰返し観測を行っています。2003年5月の観測結果からは、顕著な変動は見られませんでした(図10)。



2002年7月,10月,2003年5月に観測を行いました。  
G01(軽井沢測候所)を固定点とした各観測点の水平変動を矢印で示しています。(速報のため今後再解析により結果が変わる場合があります)

G02~G04, G06~G09は2002年7月からの変動。

G05, G11は2002年10月からの変動。

G05(三の鳥居), G09(火口東)は東京大学地震研究所浅間火山観測所の標柱を使用しています。

図10 浅間山 GPS繰返し観測結果

G P Sによる連続観測ならびに傾斜観測では、火山活動によるとみられる顕著な変化はありませんでした(図11)。

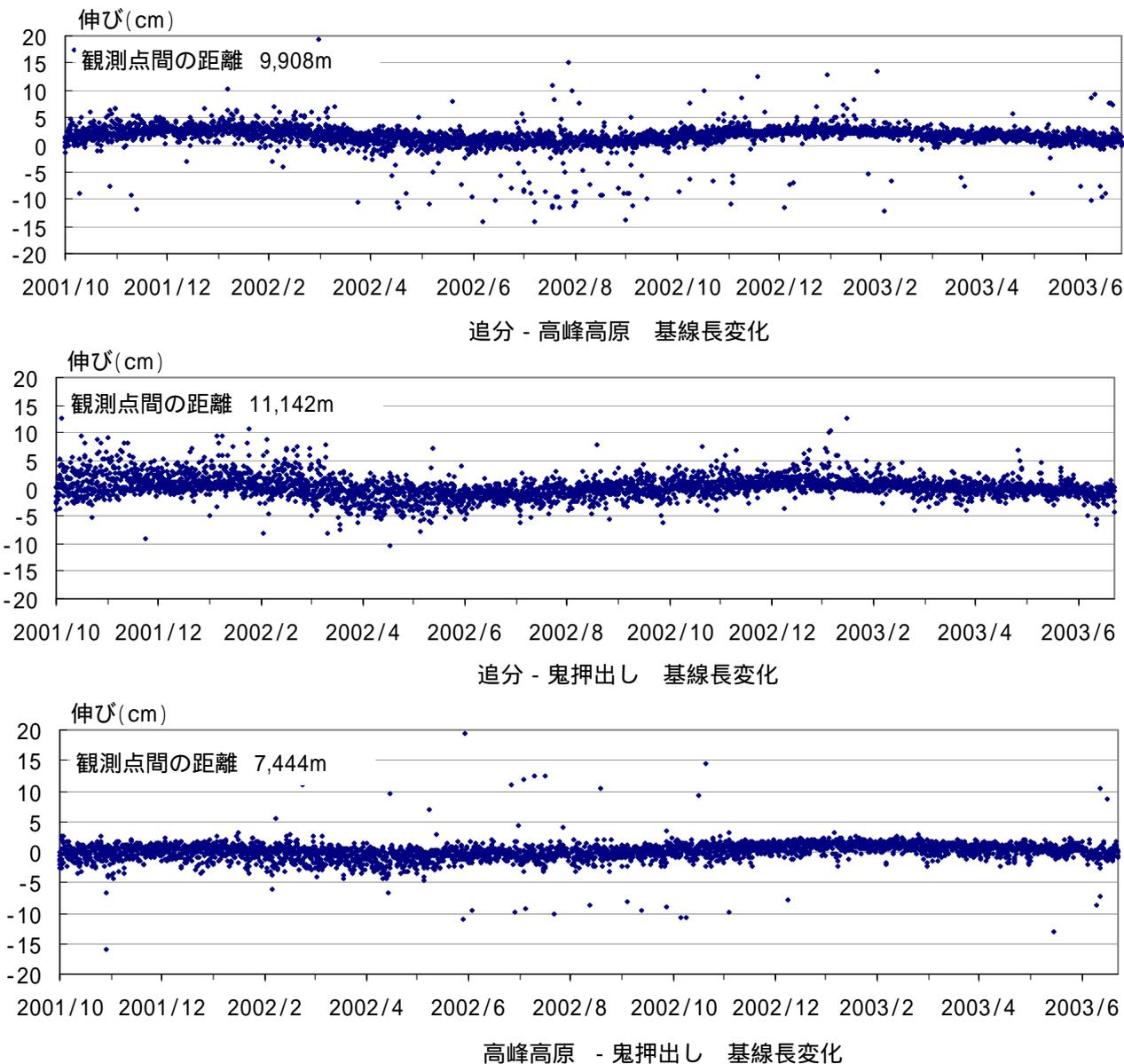


図11 浅間山 G P S観測結果(2001年10月1日~2003年6月30日)

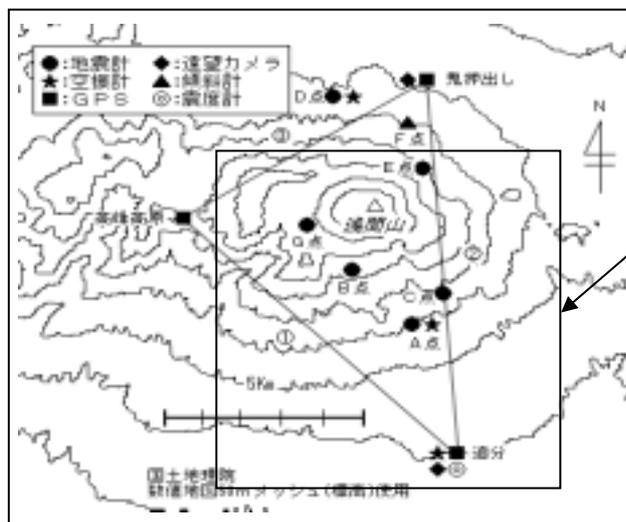


図10 G P S繰返観測の領域